



2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東
 コード番号 7826 URL http://www.furuyametals.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 榊田 裕之 TEL 03-5977-3377
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	11,274	20.6	1,913	15.9	1,868	11.7	1,194	8.2
2020年6月期第2四半期	9,351	△15.8	1,651	△44.3	1,672	△44.0	1,104	△37.4

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 1,191百万円 (6.5%) 2020年6月期第2四半期 1,118百万円 (△36.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	185.00	184.03
2020年6月期第2四半期	186.93	185.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	43,732	22,816	51.5
2020年6月期	31,833	14,429	45.0

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 22,531百万円 2020年6月期 14,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,300	2.1	4,500	22.3	4,400	17.1	2,900	14.4	449.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期2Q	7,265,212株	2020年6月期	7,265,212株
② 期末自己株式数	2021年6月期2Q	297,642株	2020年6月期	1,528,983株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期2Q	6,457,019株	2020年6月期2Q	5,906,427株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米中の貿易摩擦拡大に加え、収束が見えない新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化していることで、観光・外食・自動車関連業界を中心に厳しい状況が続きました。

このような経済環境の中、銀合金ターゲットの受注が減少し、有機EL向け原材料・化合物の受注が一服しましたが、リチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が回復基調となり、HD向けルテニウムターゲットや半導体製造装置向け温度センサー、電極向け化合物、精製・回収(リサイクル)の受注が堅調に推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高11,274百万円(前年同四半期比20.6%増)、売上総利益3,074百万円(前年同四半期比11.6%増)、営業利益1,913百万円(前年同四半期比15.9%増)、経常利益1,868百万円(前年同四半期比11.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,194百万円(前年同四半期比8.2%増)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

米国向けのイリジウムルツボの受注が一時的に減少しましたが、ガラス溶解装置向けプラチナ製品の受注が堅調に推移しましたことに加え、スマートフォン関連でリチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が回復基調となり、大型のイリジウム製品の受注もあって、売上高3,700百万円(前年同四半期比126.7%増)、売上総利益754百万円(前年同四半期比66.8%増)となりました。

[薄膜]

HD向けルテニウムターゲットの受注が堅調に推移しましたが、タッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注が減少したことから、売上高3,819百万円(前年同四半期比10.3%減)、売上総利益1,209百万円(前年同四半期比4.1%減)となりました。

[センサー]

半導体業界の活況を受け、半導体製造装置メーカーや海外半導体メーカーからの受注が好調に推移し、高付加価値製品の受注も伸びていることから、売上高1,583百万円(前年同四半期比42.2%増)、売上総利益599百万円(前年同四半期比69.8%増)となりました。

[ケミカル]

電極向けの貴金属化合物および精製・回収(リサイクル)の受注は堅調に推移したものの、有機EL向け貴金属原材料・化合物の受注が一服し、触媒製造設備増強に伴う生産調整の影響もあって、売上高2,133百万円(前年同四半期比6.7%減)、売上総利益495百万円(前年同四半期比26.5%減)となりました。

②海外売上

当第2四半期連結累計期間における海外売上高は6,735百万円(総売上高に占める割合は59.7%)となりました。地域別にはアジア向け売上高4,886百万円(海外売上高に占める割合は72.6%)、北米向け売上高1,309百万円(海外売上高に占める割合は19.4%)、欧州向け売上472百万円(海外売上高に占める割合は7.0%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は43,732百万円(前連結会計年度末比11,898百万円の増加)、負債は20,915百万円(前連結会計年度末比3,511百万円の増加)、純資産は22,816百万円(前連結会計年度末比8,387百万円の増加)となりました。

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は30,968百万円となり、前連結会計年度末比10,081百万円増加いたしました。これは現金及び預金が4,965百万円、受取手形及び売掛金が1,076百万円、たな卸資産が3,698百万円、未収消費税等が306百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産残高は12,763百万円となり、前連結会計年度末比1,817百万円増加いたしました。これは有形固定資産が1,738百万円増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債残高は14,131百万円となり、前連結会計年度末比7,271百万円増加いたしました。これは買掛金が700百万円減少しましたが、短期借入金が7,100百万円、設備関係未払金が857百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債残高は6,783百万円となり、前連結会計年度末比3,760百万円減少いたしました。これは長期借入金が3,781百万円減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は22,816百万円となり、前連結会計年度末比8,387百万円増加いたしました。これは資本剰余金が自己株式処分差益により1,616百万円、利益剰余金が735百万円それぞれ増加し、自己株式が5,838百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年8月6日付「2020年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しております計画から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,052	7,017
受取手形及び売掛金	3,051	4,127
商品及び製品	961	1,061
仕掛品	1,542	1,342
原材料及び貯蔵品	12,695	16,494
未収消費税等	473	779
その他	111	146
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	20,886	30,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,213	3,203
機械装置及び運搬具(純額)	4,463	5,470
土地	1,727	1,727
リース資産(純額)	119	104
建設仮勘定	1,505	1,241
その他(純額)	47	69
有形固定資産合計	10,077	11,816
無形固定資産	46	108
投資その他の資産		
投資有価証券	27	21
繰延税金資産	680	705
その他	115	113
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	822	838
固定資産合計	10,946	12,763
資産合計	31,833	43,732

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,110	410
短期借入金	2,600	9,700
1年内返済予定の長期借入金	820	984
未払法人税等	745	769
賞与引当金	257	250
役員賞与引当金	72	—
設備関係未払金	219	1,077
その他	1,034	938
流動負債合計	6,860	14,131
固定負債		
長期借入金	9,362	5,580
退職給付に係る負債	659	694
資産除去債務	25	26
その他	496	482
固定負債合計	10,543	6,783
負債合計	17,404	20,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	5,414	7,030
利益剰余金	10,741	11,477
自己株式	△7,249	△1,411
株主資本合計	14,351	22,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	4
為替換算調整勘定	△14	△14
その他の包括利益累計額合計	△13	△10
新株予約権	92	92
非支配株主持分	—	193
純資産合計	14,429	22,816
負債純資産合計	31,833	43,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	9,351	11,274
売上原価	6,595	8,200
売上総利益	2,755	3,074
販売費及び一般管理費	1,103	1,161
営業利益	1,651	1,913
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	29	—
受取家賃	8	7
助成金収入	12	—
デリバティブ評価益	—	1
その他	3	2
営業外収益合計	53	11
営業外費用		
支払利息	29	28
為替差損	—	18
その他	2	9
営業外費用合計	31	56
経常利益	1,672	1,868
特別損失		
投資有価証券評価損	—	8
特別損失合計	—	8
税金等調整前四半期純利益	1,672	1,859
法人税、住民税及び事業税	474	695
法人税等調整額	94	△24
法人税等合計	568	671
四半期純利益	1,104	1,188
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,104	1,194

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,104	1,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	3
為替換算調整勘定	1	△0
その他の包括利益合計	14	3
四半期包括利益	1,118	1,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,118	1,197
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,672	1,859
減価償却費	220	292
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	29	28
為替差損益(△は益)	—	9
デリバティブ評価損益(△は益)	—	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△638	△1,079
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,475	△3,696
仕入債務の増減額(△は減少)	1,123	△835
未収消費税等の増減額(△は増加)	△94	△306
たな卸資産から固定資産への振替	△1,145	△770
その他	127	△17
小計	△182	△4,517
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△25	△29
補助金の受取額	12	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,157	△661
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,352	△5,208
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△6	△72
有形固定資産の取得による支出	△748	△395
その他	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△754	△465
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,300	7,100
長期借入れによる収入	1,340	1,140
長期借入金の返済による支出	△427	△4,757
自己株式の取得による支出	△1,730	—
自己株式の売却による収入	—	7,413
配当金の支払額	△432	△458
リース債務の返済による支出	△14	△15
非支配株主からの払込みによる収入	—	200
その他	—	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,035	10,614
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69	4,965
現金及び現金同等物の期首残高	1,748	2,050
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,678	7,015

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年8月26日開催の取締役会決議に基づき、2020年9月14日付で自己株式1,220,000株、2020年10月13日付で自己株式4,500株の処分を行いました。また、2019年9月26日開催の株主総会決議に基づく2020年9月28日開催の取締役会決議により、2020年10月19日に譲渡制限付株式報酬としての自己株式6,900株の処分を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金額が1,616百万円増加し、自己株式が5,838百万円減少しました。

よって当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が7,030百万円となり、自己株式が1,411百万円となっております。

(追加情報)

(たな卸資産と固定資産間の振替)

当社グループは、保有する貴金属資産の利用実態を見直し、保有目的の変更により、たな卸資産と有形固定資産の間で振替えを実施しております。

当第2四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、たな卸資産の一部を有形固定資産に振替えております。これにより「原材料及び貯蔵品」が491百万円減少し、「機械装置及び運搬具」が491百万円増加しております。また、「仕掛品」が13百万円減少し、「建設仮勘定」が13百万円増加しております。さらに、「商品及び製品」が265百万円減少し、「機械装置及び運搬具」が265百万円増加しております。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
	増減額(百万円)	増減額(百万円)	増減額(百万円)
商品及び製品	△495	△495	△265
原材料及び貯蔵品	△491	△169	△491
仕掛品	△158	98	△13
機械装置及び運搬具	987	665	756
建設仮勘定	158	△98	13

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,631	4,257	1,113	2,287	9,289	61	9,351
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,631	4,257	1,113	2,287	9,289	61	9,351
セグメント利益	452	1,260	353	674	2,741	14	2,755

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,700	3,819	1,583	2,133	11,237	37	11,274
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,700	3,819	1,583	2,133	11,237	37	11,274
セグメント利益	754	1,209	599	495	3,059	15	3,074

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。